

研究シェアリング・プログラム 出展一覧

	所属	氏名	内容
1	食環境学科	山崎 達也 教授	水や不純物を含む低品位のバイオエタノールを付加価値の高い物質に効率よく変換する触媒を開発しています。
2	食環境学科	玉置 仁 教授	東日本大震災により攪乱を受けた沿岸生態系のその後の変化（回復過程）に関する研究をしています。また河川氾濫防止のために行われている河道掘削により発生した掘削残土の園芸用土化に向けた資源化技術を開発しています。
3	食環境学科	鈴木 英勝 准教授	地元にたくさんある低・未利用品から価値を再発見し、地元の特産品として売するための基礎的な研究をしています。当日はラーメン、サプリメント、パンを展示予定。
4	生物科学科	佐々木 洋 教授	海中の植物プランクトンの中には脂質を豊富に含む種類があり、健康補助食品やバイオ燃料に使える可能性があります。
5	生物科学科	角田 出 教授	(1) 魚介類等の品質や耐病性の向上に資する研究。 (2) 健康・抗アレルギー関連のサプリメント開発（魚・ペット・人）。 (3) 微細気泡や微細氷等を活用した水産物の鮮度向上に係る研究。 (4) 微生物制御や生物汚損対策に関する研究。 (5) 環境評価。 (6) 未利用資源や現廃棄処理対象物の有効利活用に関する研究。 (7) 塩類の効能・利用に関する研究。
6	生物科学科	奈良 英利 准教授	牡鹿半島のニホンジカの生態調査で得られたシカの角などを紹介します。
7	機械工学科	泉 正明 教授	熔融樹脂の射出成型法のコンピュータシミュレーション 樹脂の射出成型では熔融樹脂を金型に押し出し、冷却・固化し、成形品を得ている。この時金型温度などの冷却条件は品質を決定する重要因子であるため、コンピュータシミュレーションによりその決定法を検討している。
8	機械工学科	水野 純 教授	(1) 最新型マイコンを用いたロボットシステム（アーム型や車輪型等）に関する研究。 (2) 半導体製造技術に基づくマイクロマシンデバイス（マイクロアクチュエータやマイクロセンサ等）に関する研究。
9	機械工学科	高橋 智 准教授	カキ殻やヨシ繊維を配合した生分解性プラスチックの研究と3Dプリンタの利活用について紹介します。
10	情報電子工学科	亀山 充隆 教授	危険回避・高安全システム、急病自動通報システム、雑草除去ロボット、受信者の興味に自律適応するヒューマンコミュニケーションなど、日常生活空間において人間を支援する知能システムの紹介を行います。
11	情報電子工学科	中込 真二 教授	新しい透明な半導体を使ったデバイスを研究しています。紫外線を検出するデモ実験を行います。
12	情報電子工学科	工藤 すばる 教授	生体の硬さ軟らかさを測定する触覚センサの研究を行っています。その原理と応用分野を紹介します。
13	情報電子工学科	佐々木 慶文 准教授	組込み機器を用いた情報システムについて研究しています。高大産連携プロジェクト(Pepperを用いた地域活性化)に関するデモを行います。
14	経営学科	舛井 道晴 准教授	地域活性や教育支援を目的とした各種アプリケーションの開発、IoTのビジネスへの応用などを研究しています。これまで制作したアプリ展示や Pepper を用いた地域活性化の取り組み事例を紹介します。
15	人間文化学科	山内 武巳 教授	ヒトを対象にした健康に関する研究を行っており、石巻地域において活動量計を利用した地域づくりを行っています。